防犯関係部課長会議　議事録

日　時　　平成２８年８月２３日（火）午後１時３０分～２時４５分
会　場　　愛知県自治センター４階　大会議室
当番市　　豊田市
出席者

①　愛知県	地域安全課	課長	落合　斉	
②　警察本部	生活安全総務課	地域安全対策室長	内田　昌樹	
		課長補佐	安西美恵子	
③　市	名古屋市地域振興部	主幹	藤嶋　克浩	始め３９名
④　市長会	事務局	財政係長	神谷　直子	始め３名

内　容

１　開　　会　　愛知県市長会事務局　財政係長　神谷　直子
２　あいさつ　　愛知県地域安全課　主幹　落合　斉
３　議長選出　　豊田市交通安全防犯課　課長　竹内敬悟
４　議題

（１）防犯カメラの維持費及び取替費補助について（西尾市提出）

【要旨】

西尾市では今年度から防犯カメラの補助金を行っているが、維持費等について相談や問合せが多く来ている。

防犯カメラ設置に対する補助金事業を実施している自治体について、防犯カメラの維持費用、修理費用、取替え費用について補助の検討を行ったことはあるか。各市の状況を教えていただきたい。

●豊田市

・今のところ維持費は対象外ということで理解をお願いしているが、区長会からは意見が出ている。

●長久手市（資料記載のとおり）

●名古屋市

・「名古屋市安心・安全・快適まちづくり活動補助金」の中で維持費を対象としているが、電気料は算出が難しいため対象としていない。

【発言】※資料に記載されていないもの

（２）　特殊詐欺対策について（豊田市提出）

【要旨】

豊田市では６、７月に市職員をかたった還付金詐欺の前兆電話が多発した。緊急メ

ールや自治区への緊急ファックス等により注意喚起を行ったが、商業施設の ATM に誘導されるケースが多かったため、金融機関や商業施設と連携した啓発が必要であると感じている。これらの機関との連携やタイムリーな市民への情報提供について各市の状況を教えていただきたい。

●小牧市（資料記載のとおり）

＜老人会等に参加していない人への啓発をどのように行っていくか？＞

●春日井市

・高齢福祉課からの郵送物に警察が作成した啓発チラシを同封している。また、市の広報紙に記事を掲載した。

＜回覧板の活用状況はどうか？＞

●犬山市

・広報を配るときに回覧板用の資料も配付できる仕組みのため、資料を入れ込んだ。

＜防災無線の活用状況はどうか？＞

●半田市

・防災無線を振り込め詐欺啓発に利用したところ、聞き取りづらいなどの問合せが多く寄せられた。本来防災用のものであるため、使い方について再度検討しているところである。

●知多市

・知多署と覚書を交わしている。問合せが多く寄せられるため、極力、防犯啓発情報は流さないようにはしているが、７、８月は特殊詐欺啓発、行方不明者、交通安全についての情報を流した。

＜電話機への対策の実施状況について＞

●一宮市

・トビラフォンのモニター募集を１００台分行っている。平成２６年度から行っている（当時は８０台）が、定員いっぱいになることはない。広報紙、コミュニティ FM、ケーブルテレビ、講話などで PR している。

●刈谷市

・定価１３，０００円の機器を１００台購入し、一台２，０００円で配付している。７月から実施し、８月２２日現在７５台出ている。今年度は試行で、９月にアンケートを実施したうえで、来年度予算に反映させる。

・どれだけ防いだかという効果ははかれないが、高齢者が電話に出る不安がなくなったということであれば、十分効果があったと考えている。

●愛知県（警察本部）

・防災無線の防犯広報の活用は総務省と警察庁で協議に基づき行なっている。無線機の設置状況から、防犯情報の広報は難しいという声なども届いている。暴力団抗争、テロなどへの対策として活用の可能性があることから、協力を願いたい。

・金融機関との連携については、名銀協の事務局を通じて連携をお願いしているところである。１０月にはUFJ銀行との連携事業を予定している。
・愛知県は還付金詐欺が多発しており、６、７月はオレオレ詐欺と件数が逆転した。多発地区にはＡＴＭ警戒のチームを派遣している。
・コールセンターからの注意喚起を行っている。
・特殊詐欺対策として「〇（まる）っとあいち・絆プロジェクト」により、県民一人ひとり、息子世代を巻き込んでいこうと実施をしている。自治体からの応募をお願いしたい。
・ＮＨＫでのテレビ広報を９月５日頃から行う予定である。

●愛知県
・犯罪の情報を早く入手できるよう、日頃から地元署との連携をお願いしたい。
・防災無線の活用は決められた範囲内で運用してもらえればよいと考えている。
・特殊詐欺対策として県ができるのは、広報しかない。敬老の日までにチラシを各市に届けられるよう準備しているので、活用してほしい。

【発言】※資料に記載されていないもの

（３）自動車盗難防止対策事業について（春日井市　提出）

【要旨】

愛知県は平成１６年以降１２年間で９回も自動車盗全国ワースト１になっており、春日井市も毎年１００台前後被害に遭っている。各市において、何か対策を行い、自動車盗が減少したという事例など自動車盗の防止対策事業について、教えていただきたい。

●一宮市（資料記載のとおり）

＜インターチェンジが多いと刑法犯が多いと言われるが、そういった傾向があるのか＞

●愛知県（警察）
・１０年くらい前は、ハイエースやランクル等が盗られるとヤードに運ばれて分解され、海外に送られるというルートがあったので、（インター付近は）山間部にあるヤードにアクセスがいいと言われていた。
・近年では、三河部で多発したトラクター盗は同様であった（検挙済）。
・一方、最近の自動車盗は住宅対象侵入盗とセットで、プリウスが盗まれ、侵入盗の足として使われるケースが多く、これは高速とのアクセスは関係ないと考える。
・対策としては、イモビライザ＋１（ワン）でハンドルロックなどの対策を推奨している。
・ナンバープレートを盗むために自動車をとられることもあるため、ナンバープレート盗難防止ねじをつけることで、自動車盗被害を防ぐこともできる。盗難防止ねじは新車販売時にセットで行うことを自動車販売協会に働きかけをしており、浸透してきている。
・愛知県安全なまちづくり条例において、イモビカッターの所持は罰則が科せられるが、

実際に所持品確認から現行犯逮捕につながった事案がある。警察としても、未然防止に努めている。

●春日井市

・平成３０年度に絵柄入りナンバープレートの導入を検討している。ナンバープレートが盗まれにくくなるのでは、と考えている。

【発言】※資料に記載されていないもの

５　その他

●愛知県（警察）

・愛知県は侵入盗ワースト１位である。多発地域のエリア対策としてメロディパトロールをパトカーだけでなく、青パトでの実施もお願いしているので協力願いたい。

・侵入盗被害は無締りでの被害がまだ多いので、啓発していきたい。

●愛知県

・自主防犯活動団体への委託事業を今年度は１８団体で行っている。各市においてもそれらの団体と積極的な関わりをお願いしたい。

６　次年度当番市の決定　　安城市（市政施行順）

７　閉会　　愛知県市長会事務局　財政係長　神谷　直子